

日野稲門会報

第29号

(創立40周年記念特集号)

日野稲門会
ホームページ
http://www.hinotomonkai.org/
〔事務局〕
日野市南平1-34-11-402
生川方
☎042-593-7290
事務局長：生川 博
編集責任者：高橋 敏夫

《ご挨拶》

日野稲門会は創立40周年の節目の年を迎えました

日野稲門会会長
小笠原 豊

(昭40・政経)



日野稲門会は昭和54年6月に発足し、平成の時代が終わる中、今年で40年を迎えました。私自身稲門会に入会し、千田吉郎、森田治夫、山内治男諸先輩方3人の会長の下、役員として二十数年間携わってきました。今、思い起こせばこの間決して順風満帆に推移してきた訳ではなく、箱根駅伝に例えるならば、雨風や、険しい坂道、突然のアクシデント等、当会にも思い起こされます。しかしながら

歴代会長、多くの役員や会員の努力により、充実した活気ある稲門会として発展し、改めて感謝を申し上げます。平成12年迄の3同好会活動から現在では13同好会活動へと舵を切る改革と挑戦をしてきた40年でした。

そこで創立40周年の節目の年を迎える中、4つの記念事業を日程順に申し上げます。

一、第三回新春懇談会で映画「最後の早慶戦」の上映。二、日野稲



昨年の総会会場風景 (立川グランドホテルにて)



懇親会での校歌斉唱

門会会報の40周年特集号の発行。三、日野稲門会総会時の特別講演会。四、日野稲門会会員による「美術作品展」の開催。これら4つの記念事業を計画し、役員一同一致団結して成功裏に向け準備進行しております。これら事業に多くの会員の皆様方のご参加、ご高覧を心よりお待ちしております。

早稲田大学は昨年十一月より、鎌田総長から田中愛治総長の新体制が始まり、私たちが商議員も初めて総長選挙に一票を投じました。

日野稲門会としても微力ながら校友会と共に将来の早稲田を支えていきたいと思

日野稲門会創立40周年記念事業のお知らせ

日野稲門会は、本年創立40周年を迎えました。これを記念して以下の事業を行います。御期待下さい。

- 映画上映会 (2/17実施済み) 「ラストゲーム 最後の早慶戦」
- 総会時の特別講演会 「コンバットマーチと 早稲田カラー」 講師 三木佑二郎氏 (総会案内参照)
- 美術作品展 8月28日~31日 ひの煉瓦ホール 会員の絵画、書、写真、陶芸、彫刻などを展示します
- 会報の特集号(この号です) 創立40周年記念特集として「日野稲門会と私」を特集します。

第40回 総会・懇親会のご案内

- 日時 令和元年6月16日(日) 午前11時より (受付 午前10時30分より)
- 会場 立川グランドホテル (立川市曙町2-14-16) 立川駅北口より2分
- ☎042-525-1121(代表)
- 会費 6千円(会場で徴収)
- 《第一部》総会(11時より)
- ・会長挨拶(小笠原 豊)
 - ・来賓挨拶(早稲田大学) 主な議題
- ①平成30年度事業報告・会計報告
- ②平成30年度会計監査報告
- ③令和元年度事業計画 予算案
- 《第二部》創立40周年記念特別講演会(12時より)
- ・講師 三木佑二郎氏(早大社 会連携研究所招聘研究員)
 - ・演題 「コンバットマーチと 早稲田カラー」
- 《第三部》懇親会(13時より)
- ・乾杯・来賓挨拶
 - ・初参加者・新会員の紹介
 - ・新入生歓迎会
 - ・歓談・校歌斉唱

今年度の行事予定

- 6月1日 早慶戦を応援する会
- 6月1日 オール早稲田田祭祭
- 6月16日 第40回 総会・懇親会 (創立40周年記念総会)
- 8月28~31日 美術作品展 (創立40周年記念事業)
- 9月12日 男の料理教室
- 9月下旬 ハイキング同好会
- 9月下旬 史跡めぐりの会
- 10月4日 秋のゴルフコンパ
- 10月20日 稲門祭
- 10月20日 早慶戦を応援する会
- 11月3日 日野荒ふる会(早帝戦)
- 11月10日 三多摩支部大会
- 11月14日 男の料理教室
- 11月23日 パイドウオッチング会
- 11月28日 日野荒ふる会(早慶戦)
- 11月28日 ハイキング同好会
- 12月1日 日野荒ふる会(早明戦)
- 12月9日 男の料理同好会
- 2月16日 新春懇談会(第4回)
- 3月12日 男の料理教室
- 3月中旬 パイドウオッチング会
- 3月21日 ハイキング同好会

※各日程は、変更される場合があります。

※総会は、原則として、毎年6月第3日曜日の開催です。

稲門祭 NEWS

「稲門祭」は、ホームカミングデーと同日に行われる、校友が母校で楽しむことができる祭典です。校友の音楽祭、講演会、パレードなどのイベントや模擬店などで賑わいます。どなたでも参加できますので、ぜひお出かけください。

《とき》10月20日(日) 12時~

《ところ》早大早稲田キャンパス

日野稲門会では、今年も魅力あふれる稲門祭記念品を事前販売しています。この収益金の全額が、校友会奨学金になります。皆さんの温かいご支援をお願いいたします。

【問い合わせ先】 上田 ☎080-9340-8388

※日野稲石会は毎月第3土曜日に、歌う会は毎月第1水曜日に、テニス同好会は毎週火曜日に、スキー同好会は1月と2月(日)は未定に、源氏物語を読む会は毎月最終木曜日(原則)に、健康麻雀同好会は奇数月の第4月曜日に開催されます。

創立40周年記念特集

日野稲門会と私

6人の先輩のかたがたよりご寄稿いただきました

今思いごと



元会長 森田 治夫 (昭23・専攻)

今一番に思いだされるのは、千田会長辞任時の出来事である。千田会長の就任五年目の二〇〇〇年八月、幹事会に於いて幹事から運営に対する異論が続出した。打開策として会長を大谷副会長にと声が出たが固辞され、私から暫く当会の休会はどうかと提案したが、現会長の小笠原幹事から強い反対があり頓挫した。千田会長が立ち上り、「皆で俺をおろそうとしている」、「俺は今止めるから大谷がやれ」と大声を発して退出されてしまった。残った者で大谷さんに会長を要請したが本人が固辞され、止むなく私の会長就任となった。

「ず大谷さんに不敬を詫びよ」と私が怒鳴りかえす一幕があり、その時は帰られた。また、三多摩支部稲門会の席では「あなたの処では千田会長を追出したそうですね」と言われ、会議終了後に「きちんと説明しますよ」と私が言い返した事もあった。この事はずっと私の中に残り、平成十八年幹事会に諮り、名誉会長制度を設け、先の委嘱状を千田家に持参しお渡した。

委嘱状

日野稲門会名誉会長 千田 吉郎 殿

貴方は日野稲門会創立に尽力され、以来、副会長、会長としての会の発展に寄与されましたその功績に対し、名誉会長の職を委嘱致します

平成十八年六月二十五日

日野稲門会会長 森田治夫

その後、母校一二五周年記念事業基金があり、千田さんは一千万円を寄付され、数年たった学報の基金欄では、故人になったあとも更に一千万円(故人)寄付されたのを見し、氏の母校愛の深さに感銘した次第であります。 合掌

日野稲門会との付き合い



久保田 喜美雄 (昭30・理工)

日野稲門会創立40周年おめでとうございます。卒業四年目の昭和34年に東京・御徒町から多摩平公団住宅に転居し日野の住民になりました。当時は市でなく日野町の時代です。高層4階の我が家から見える多摩丘陵は緑で覆われ、青虫と呼ばれた京王電車が走り、東方遙かに霞ヶ関ビル、正月三が日は空も澄みわたり筑波山を望むことが出来る環境に大満足していました。

日野稲門会(当時千田吉郎会長)には同種の仕事で屢々ご指導戴いていた先輩深沢昇様(故人)のお誘いで入会しました。以後、森田、山内、小笠原様と歴代の会長と役員の皆様のご尽力で年々充実していく会に感謝しつつお世話になっております。卒業生の会には幾つかお付き合いをしていますが、大学の校友会本部に直轄した日野稲門会は他では味わえない良さを感じています。地域の環境に即応したバードウォッチング会をはじめ趣味を生かした幾多の同好会が活発なのも特色の一つだと思います。「早稲田」と言えば学業はもとより学生時代に熱

中し応援したスポーツも忘れられません。同好会の「早慶戦を応援する会」「日野荒ぶる会」で思い出を辿りながら楽しめるのも稲門会の良さでしょう。

創立40周年記念企画の「ラストゲーム(最後の早慶戦)」上映会は素晴らしい企画でした。この壮行試合は「早稲田スポーツ百周年記念誌(体育局刊)」にも史実として掲載されています。試合当日ベンチに居た石井藤吉郎選手(第10代監督)が学徒出陣→シベリア抑留→復員・復学、昭和25年主将として活躍し前年最下位の早稲田が春秋連覇し感動した記憶があります。

日野稲門会は地域の早稲田マンが気軽に付き合いできる会だと思います。今後共お世話になりますので宜しくお願いいたします。

稲門会と友と私と



三浦 永訓 (昭31・政経)

日記には昭和五十四年十月二十九日夜、山田裕四氏(弁護士)より電話とある。この日から日野稲門会との関りが生じ、時折数人が清水会計士事務所集まり会の運営に与った。千田吉郎氏と知り合いになり良く飲み飲み談話した。やがて氏を通じて日比野弘氏(元早大ラ

グビー部監督)より数回にわたりチケットを回して頂いた。メインスタンド中央席グラウンドが一望俯瞰出来大いに楽しめた。平成五年五月二十四日の総会には日比野弘氏に講演を頂く。その折持っていた「ザ・ラグビー」という文庫本に「努力は運を支配する」との揮毫も生々しい。後で知ったことだがこれは宿沢広朗氏が座右の銘としていたものでした。

私はよく立川の基金会へ行った。ここで自分のカートを探している時、稲門会会員の「三浦晴久」氏のカードに偶然遭遇。稲門会草創の頃であったので思い切って電話をしてみた。以来囲碁の仲間になっている。二人の「棋譜」が「碁ワールド」という雑誌に掲載されたことも懐かしい。氏は日本棋院の指導員であり自らは数学を高校生に教えているとのこと。多才なり。更に、東芝の元社員の所以で現在東芝フィルドバイオリンを弾いている。年に二度のコンサートには必ず五枚のチケットを頂く。知り合ったころ、よく酒を飲んだ。秘め事のひとつやふたつは誰にでも、そんな昔のことなどを話してくれた貴方を私は信じる。

私の発起なるもののひとつに「ハイキング同好会」がある。亡くなった人も何人かいるが寂しい。でも、現在は盛んなようで喜ばしい。それから、思い出せばきりがなく、そのひとつにある囲碁例会

あとの懇親会、にこにこ笑いながら、「ラグビー」同好会を作りませんかと話しかけてきた人、英さん忘れてはなるまい、「荒ぶる」の発案者です。斯様に多くの稲門の方々と知己になり、その縁に限りない感謝を申し上げペンをおきま

がずがずの 人と出会いて
別れゆき 忘路となるも
我に悔いなし 半睡

山に魅せられ



中西 摩可比
(昭27・政経)

山仲間と誘われて初めて山に登ったのは北岳であった。当時、北岳が富士山に次ぐ二番目に高い山であることも知らずについて行った山音痴であったが早朝山頂から震えながら見たご来光と遙かかなたに浮かぶ富士山を眺めた時すべての事を忘れて歓喜のなかに浸っていた事はいまだに忘れない。

此の事が切っ掛けで山にのめり込んで行ったのだ。山登りをやるために探した「新ハイキング」という月刊誌、この中には毎月山行計画を発表している数名のリーダーがありそれに参加して数知れぬ程の山々に出会ってきた。

日野市にある有名な会社の山岳

部の方たちが作った「日野ハイキングクラブ」に入会し、年間6回バスや電車で有名な山々に連れて行ってもらい中でもコニカの方とも仲間になって写真に関する話に花を咲かせ現在もお付き合いをしている。

日野稲門会の山仲間とも古くからお付き合いさせてもらい個々に山の計画を立てそれに同行してやってきたが、仲間が増えてきた時点で同好会を作ろうかという事になり、平成6年に亡き石川や今も元気な山本、祖母井、三浦などのベテランとハイキング同好会を立ち上げた。中でも会則は菅沼と私で練り上げ年4回を基本として5月に発足し現在第85回を迎えている次第である。

この様に大勢の方たちと山の交流を続けていく為には当然体力を強化しなくてはならない。山で事故を起こすと大勢の方たちに迷惑が掛かる。このためには毎朝ジョキング5kmを欠かさず走って元気を保っている。

「ハイキング同好会」は会報第28号に書いてある通り会員の高齢化につれ高い山は敬遠気味になった事は寂しい。仲間と相談で「一つ星の会」と言う山の難易度を表す星の数で一番軽い山の会を作り月一回開催予定で始めた。一人でも多くの仲間が増える事を祈りつつ。

ゴルフバスの思い出



前会長
山内 治男
(昭35・教育)

三十年前のある日、日野稲門会から案内があり懇親会に参加しましたが、その席に西原春夫総長も出席されていたのでびっくりしました。このとき、はじめて日野稲門会を知ることになりました。

その後ゴルフのお誘いがあった。コンペに参加するようになりました。当時は、「昭和の森ゴルフコース」でプレーし、懇親会は日野駅前

のサカエヤ茶楼で開いていました。そうこうしているうちに、森田治夫さんのご指名で大谷一夫さんとゴルフ会の幹事をすることになり、新しい試みとして、サロンバスを使いあちこちのゴルフ場でプレーすることを企画しました。

毎回25〜30人の参加者がいて、たいへん好評でした。特にサロンバスは席が向い合せて回転できま

すから、お互いに顔を合わせ、和気あいあいの雰囲気がつくれます。そこにアルコールが入るわけですから、車内はまるで大宴会場に早変わり、ゴルフ場から豊田駅まであつという間に到着してしま

平成14年から、中央道と関越道沿線の名ゴルフ場を次々にプレーしましたが、とくに車内での懇親会が、お互いにより親しみを増す場になったのではないかと思います。ゴルフバス車内での飲み会が楽しいので、コンペに参加しましたなんていう人もいて、当時を懐かしむ声はとも多かったです。

その後、日野稲門会の副会長、会長職をつとめさせていただきました。ゴルフ幹事を小林忠雄、高橋敏夫、永山肇さんに引継ぎましたが、このサロンバス車内での面白かった出来事など、いまでも鮮やかに記憶に残っています。日野稲門会で、古き良き時代の思い出です。

日野稲門会の効用



金子 順治
(昭37・法学)

日野稲門会創立四十周年おめでとございます。私は会社勤めが終った二十年前に入会致しました。短い期間でしたが幹事もさせて戴きました。一番印象深いのは阪本昭夫さん、窪井勝典さんと一緒に「早慶戦を応援する会」を作った事です。

第一回は二〇〇二年秋のシーズンでした。この頃の母校はとても強く、今もプロ野球で活躍している鳥谷、青木等が在籍して

いる。四連勝しました。会員の希望もあり学生席で応援した事もありましたが、立ったり座ったりの応援は大変疲れた事を思い出します。試合後の祝勝会(時には残念会)は神宮球場近くの蕎麦屋で行うのが恒例となっています。四連勝当時、野球部OBの石井連蔵氏や小宮山悟氏等と席し、一緒に校歌を歌った事は貴重な思い出です。

最近の母校野球部はやや低迷していますが、経験豊富な小宮山悟氏を新監督に迎えて必ず巻き返してくれるものと期待しています。野球の応援のほかに「日野荒ぶる会」にも数回参加しました。最近

は杉本武彦さんのお誘いがあり、日本を代表したラグビー選手(母校出身以外の選手も含む)とラグビー好きとの懇談会に参加しています。野球、ラグビー、駅伝等を応援する事によって母校をいつまでも身近に感じられるのは幸せなことです。

スポーツ以外では、会員の野頭泰史さんのご自宅で、年二、三回開かれる「ホームコンサート」の案内を戴き、クラシック音楽を楽しんでいます。

定年退職後、外部とのつきあいが少なくなる中で「地域老人会」「旧職場OB会」や「日野稲門会」の活動に参加することは、思いがけず八十才を越してしまっただけで生きているようになって

■新同好会だより



宮本 誠二
(昭48・政経)

史跡めぐりの会

一昨年の十月に行われたアンケート調査で一番希望が多かった「史跡めぐりの会」は、当会会員でウォーキングに関する第一人者である村山友宏氏の企画立案のもと、昨年五月に設立されました。運営方針は、「三多摩、まずは日野市内を中心に歩き、先人の足跡を訪ね、和気アイアイ、知的フクワクを楽しむ会」ということで、以前から地元日野の歴史に興味のあった私は即参加しました。

そして待ちに待った第一回が昨年九月二十三日に会員21名の参加のもと、高幡不動尊金剛寺境内めぐりということで開催されました。日頃から初詣等で馴染みのある高幡不動尊ですが、市の文化財係の中山氏（早大OB）の案内で、今まで素通りしていた玉南電気鉄道



史跡めぐりの会
高幡不動尊 五重の塔をバックに

日野稲門会同好会連絡先一覧

同好会名	幹事	連絡先
ハイキング同好会	高田 俊雄	586-4346
ゴルフ同好会	吉川 正行	593-7191
バードウォッチング会	玉木 雅治	090-4840-3261
早慶戦を応援する会	生川 博	090-5302-2775
日野荒ぶる会(ラグビー)	杉本 武彦	583-6101
日野稲石会(囲碁)	大高 秀樹	581-5378
歌う会(カラオケ)	早川 圭典	593-4871
テニス同好会	上田 實	080-9340-8388
男の料理教室	松島 正明	591-9747
スキー同好会	高橋 敏夫	591-6811
源氏物語を読む会	玉木 雅治	090-4840-3261
健康麻雀同好会	上田 實	080-9340-8388
史跡めぐりの会	村山 友宏	090-1106-2296

第三回新春懇談会 実施

2月17日、日野稲門会発足四〇周年を記念して上映された「ラストゲーム 最後の早慶戦」に続き、第三回新春懇談会が31名の会員の参加を得て開催されました。

13時に会長挨拶で始まり、自己紹介では会員のユーモア溢れる話と吉川氏の名司会で笑いが絶えませんでした。続いて行われたビンゴゲームも、今年は「とび賞」を設けた為終了まで賞品の行方に一喜一憂する賑やかで楽しい余興となりました。最後は恒例の校歌斉唱で16時にお開きとなりました。



新春懇談会出席者の集合写真

《第21回》収穫祭

家族と一緒に楽しめる行事として好評の「収穫祭」(芋掘り会)が、今年も左記のように開催されます。皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

〔日時〕10月12日(土)

午前10時より

〔場所〕実践女子短大グラウン

下近くの農地

〔参加費〕300円

〔問い合わせ先〕杉本 武彦

☎583・6101



昨年の収穫祭(芋掘り会)の状況

◆「多摩川・浅川クリーン 作戦に参加」

当会は、ボランティア活動の一環として、4月21日に行なわれた「多摩川・浅川クリーン作戦」(日野市主催)に参加しました。当日、会員22名が午前9時過ぎ一番橋に集合し約1時間にわたり浅川兩岸の清掃活動を行いました。



クリーン作戦に参加した稲門会員

◆「三多摩支部大会」のご案内

今年度の東京三多摩支部大会が、青梅・昭島・羽村の各稲門会を主幹稲門会として開催されます。日時 11月10日(日曜日) 会場 青梅市福祉センター 詳細は、別途ご案内します。

◆会員の動き

〔新入会員〕

相馬 安行 昭59 文学・西洋文化

五十嵐 耕一 昭51 政経・政治

青木 雅介 昭51 理工・機械

大澤 俊弘 昭42 政経・経済

〔退会会員〕

嶋田 富次 堀川 容一

大西美栄子 山内 兄人

丸竹 洋三 佐藤 勝也

窪井 勝典 大谷 一夫

西田 暢秀 山崎 公敬

関口 整次

◆新会員募集

日野稲門会では、新会員を募集しています。皆さんのお知り合いの校友でまだ当会に入会されていない方々に参加を呼びかけ、是非当会にお出かけ下さい。入会を希望される方は、事務局または各同好会の幹事までご連絡下さい。

【年会費】3千円 【入会金】無料